

# MONE GROUP OFFICE

Mizuho Realty One Office  
Otemachi Tower, Tokyo

施設名称：MONE グループオフィス

住所：東京都千代田区大手町1-5-5 大手町タワー16階

用途：オフィス

延床面積：946.9㎡

内部仕上げ：

天井 既存システム天井、ルーバー天井

壁 LGS組GB + 壁紙（特注デザイン）

床 既存OAフロア+ タイルカーペット（タピスルシール/田島ルーフィング）、タイルカーペット（ECOS iD / スミノエ）、ウッドペッカーオフィス（タピスルシール/ボード）

シェルフ什器 ダイライト下地 + シナ合板練付けマットクリア塗装仕上げ、一部防音合わせガラス（ソノグラス） + グラデーションシート

入居建物：大手町タワー

建物の高さ：199.7m

階数：地下6階、地上38階、塔屋3階

構造種別：地下 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 鉄鋼造



日本のビジネスの中核である東京・大手町において最高となる200mの高さをもつ「大手町タワー」。地上では、3,600㎡もの広大な都市の緑「大手町の森」を臨み、上層階には世界的ラグジュアリーホテル「Aman Resorts」が展開しています。

皇居を一望できる大手町タワーの16階の「MONE(エムワン) グループオフィス」は、「みずほリアルティOne株式会社」「みずほ不動産投資顧問株式会社」「みずほリートマネジメント株式会社」の3つのグループ会社が同居するワークスペースで2022年1月に移転しました。

移転前の旧オフィスでは、会社間の風通しや働き方の固定化に課題があったため、今回の移転を機に解決すべく、「3社の融合」「働き方の多様性の推進」「社員エンゲージメントを高める」をテーマに掲げて、3社を緩やかに繋ぎながら多様な場を生み出す仕掛けとしての「Long Connecting Shelf」を用いて、ニューノーマルな働き方を加速するオフィスを構築しました。



## GENERAL INFORMATION

### 概要



## DESIGN BACKGROUND

### デザインが生まれた背景



「MONE グループオフィス」は、業法上の情報セキュリティに配慮しながらも、3社の社員が「連携・融合」し、「家のように居心地がいい」と感じられるようなオフィスの実現を目指しました。

グループとして、業務内容に合わせて働く場所と時間を自由に選べる働き方「ABW (Activity Based Working)」を導入し、オフィスにおいてもフリーアドレスを導入するなど、「ニューノーマルに対応した働き方を加速する場」となるように構築しました。

また、本業である不動産運用のノウハウを最大限表現したオフィスを構築することにより、グループのサステナビリティ重要課題である「長寿命な不動産ストックの創出」と「テナントへの安心・快適・健康の提供」を自ら体現することで、ステークホルダーに対する”ショウケース”となるよう計画しています。

## DESIGN FEATURE デザインのポイント

### Long Connecting Shelf



業法上の情報セキュリティに配慮しつつ、3社の連携・融合の場へと導く「Long Connecting Shelf」は、以下の3つの点を意識してデザインされました。

1. 「Shelf」とゾーニングで、物理的情報障壁を確保しつつ連携・融合の在り方を示す
2. 「Shelf」によって多様なスケールの空間を生み出し、働く場所を選択する楽しみをつくる
3. 「Shelf」がつつなく空間は動線と視線がクロスし、自然と会話が生まれ、コミュニケーションが活性化する

新型コロナウイルスの影響で私たちのワークスタイルは大きく変化し、多様な働き方ができることが当たり前という時代になりました。オフィス空間は新しい可能性を秘めた環境へと進化し、パーテーションで仕切られた個人のデスクではなく、風通しの良いオープンスペース、心地よいインテリア、みんなで働くことができる共用スペースを優先してデザインし、在宅する以上にリラックスして働きやすい空間を目指しました。物理的情報障壁が必要となるようなオフィス構築の際の、一つのアイデアの形です。



## DESIGN FEATURE

### Shelfの機能

## Long Connecting Shelf



デザインの鍵となっているのは、3社の共用スペース (MALL) を囲むようにクネクネと蛇行しながら配置されたユニークな「Shelf」です。

Shelfには、情報障壁となるようにグラデーションを施したガラスや透明ガラス、ガラスがなく抜けている箇所を計画的に配置し、情報のセキュリティレベルをコントロールしながら、視覚的にシームレスな空間を感じさせつつ、歩いていると自然と視線がクロスして会話が生まれる場所など多様なスケールの空間をつくりだしました。

MALLの床はオークフローリング、窓側のオフィススペースは芝生のようなグリーンカーペットとし、素材感とナチュラルな色彩で空間を分けています。



## DESIGN FEATURE

### Shelfの機能

## Long Connecting Shelf



Shelfは3社の融合施策の役割を兼ねています。Shelf上では各社の業務実績などを展示することで、各社や社員が互いにどのような業務を行っているかを理解し、コミュニケーションを生むきっかけとなっています。

数多く置かれた鉢植えは、1鉢ずつ担当を決めて社員が世話をしています。社員は自分の植物を大切にするため自然とオフィスに来るようになり、「誰の植物が一番美しく育つか」という観察も楽しみの一つで、植物を育てる社員同士のつながりや連帯感を感じる一助になっています。

## DESIGN FEATURE

### Shelfが生み出す多様な空間 - MALL

#### Long Connecting Shelf

MALLでは、丸みを帯びた家具の柔らかな美しさが、曲線的なShelfの壁と呼应し、視線や動線が交錯することで偶発的なコミュニケーションを促します。軽快な色調の木目が特徴的で自由に組み合わせられる可動式ソファシステムが円形のグリーンラグを囲むように並び、自由かつスピーディーなコミュニケーションが生み出されます。

他にも、丸みを帯びた形状の木のテーブルが所々に置かれ、気軽に使えるカフェカウンターは、カジュアルに交流できる場の中心として機能しています。



## DESIGN FEATURE

Shelfが生み出す多様な空間

## Long Connecting Shelf

このオフィスでは社員間のコラボレーション、働き方や働く場所の柔軟性と多様性が重要なデザイン要素になっています。社員のWell-beingにも配慮して、高さの異なるテーブルを組み合わせることで、ゆっくりくつろぐことも、数分間だけ腰を下ろすことも、気分転換に立ったまま仕事をする 것도、クイックなミーティングを行うことも可能です。また、窓際にはカジュアルなミーティングスペースが設けられ、街の眺望を楽しむことができます。





**DESIGN FEATURE**  
Shelfが生み出す多様な空間 - 執務室

Long Connecting Shelf

蛇行するShelfの奥にはどこからでも都心のパノラマビューを楽しみながら仕事ができる3社のオフィススペースがあります。開放感あふれるオフィス内はすべてフリーアドレスで、Shelf自体にもデスクエリアを設け、窓際にはミーティングコーナーが配置されています。守秘性の高い業務や集中して作業を行う場合には、MALLに設けられた4つのweb会議ブースと6つの防音集中ブースを使用できます。





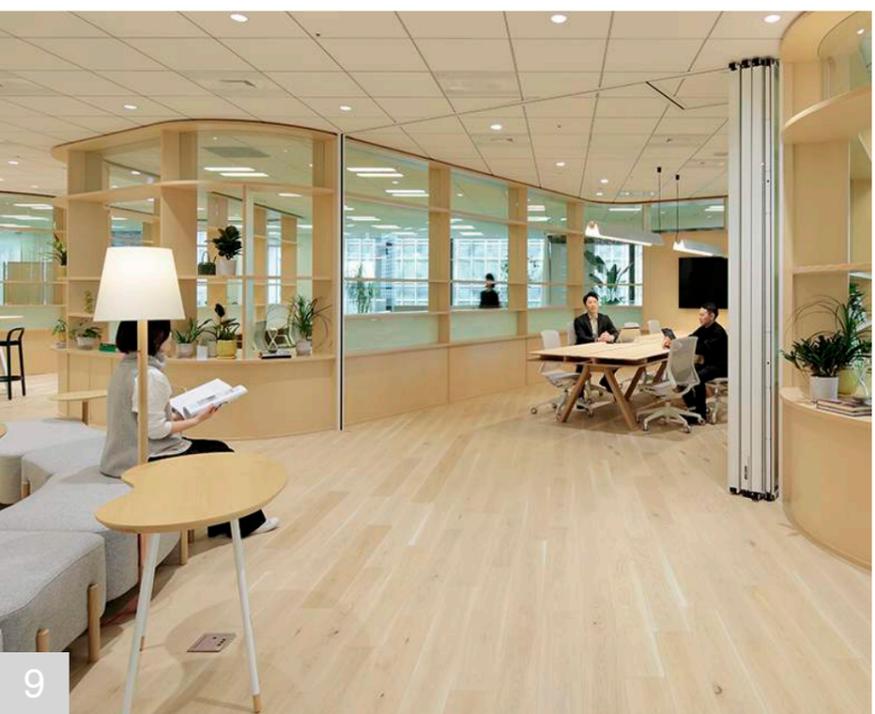
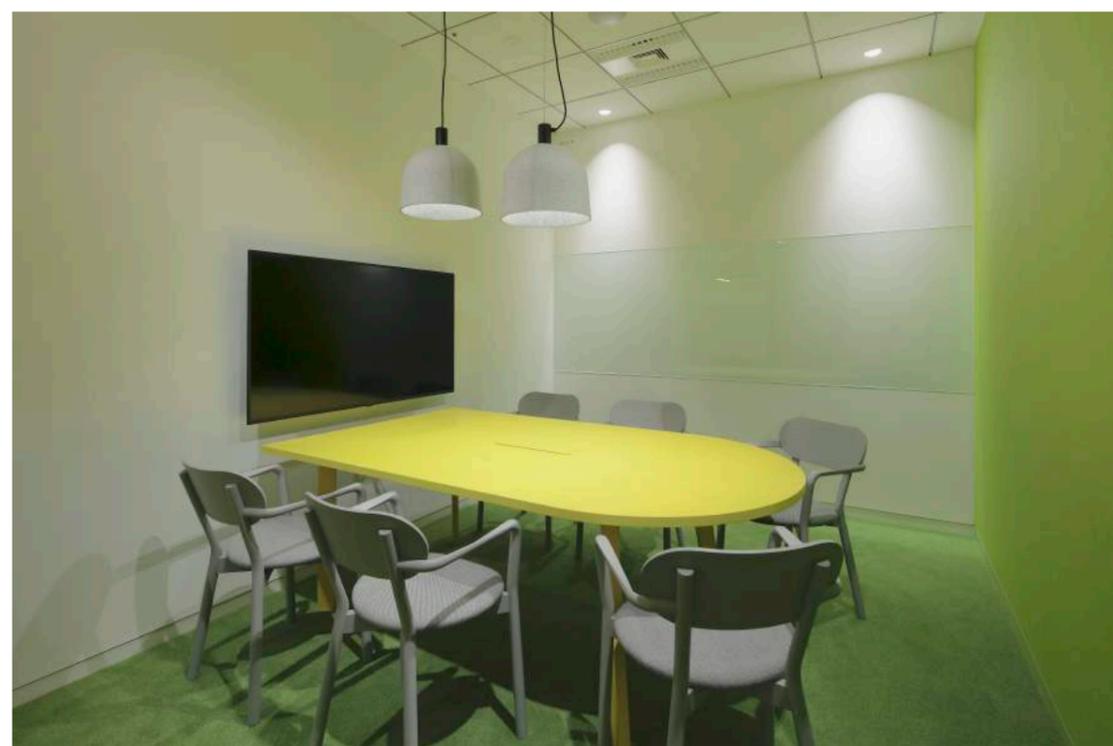
# DESIGN FEATURE

Shelfが生み出す多様な空間 - 会議室

## Long Connecting Shelf

会議室は4種類あり、①大会議室 (10人)、②小会議室 (着席タイプ)、③小会議室 (スタンディング利用可)、④小会議室 (カーテン間仕切りタイプ)を利用目的によって選択することができます。

特に、メインの大会議室は、Shelfを活かしながらフレキシブルに使える空間としてデザインされています。MALLの一部として開放することも、スライディングドアを閉じて防音された会議室として使用することも可能です。





窓際のR&B（リフレッシュ&バー）スペースは皇居を見下ろす方角に配置し、豊かな緑を望みながらリフレッシュできる空間になるように配慮しました。深いグリーンのカーペット、頭上の木製ルーバー、低く吊り下げられた琥珀色のペンダントランプが特徴的で、暖かみを感じる空間となっています。日中は仕事の合間にリフレッシュをしたり、カウンターで仕事をしたりし、夜には社員が集う憩いの場となりグループの連携・融合を心から感じることができる空間です。